

フラットベットアプリケーター
FB1530H
取扱説明書



ご使用になる前に説明書をよくお読みください！

FB1530H V1.1

はじめに

FB1530H フラットベットアプリケーターをお選びいただき、ありがとうございました。

FB1530H は、長尺の張り合わせに最適で加工スペースが 1500mm×3000mm までの張り合わせ加工が可能となります。

また、本機では、張り合わせ作業の効率化を念頭に操作性や、人間工学的に基づいた新しい設計が採用されており、細部には創意工夫が加えられているため、張り合わせの加工がシンプルに行えるようになっています。

効率化の張り合わせ加工の実現と本機の長寿命化のため、本取扱説明書の設置、操作、メンテナンスなどの説明をよくお読みください。

2. 技術仕様と関連パラメーター

最大加工幅	1500mm×3000mm
ローラー直径	150mm
最大ローラーニップ幅	50mm
ローラー昇降	エアーコンプレッサー
コンプレッサー電源	AC100V 50 / 60Hz
装置の外寸	W1840×D3610×H1200 (mm)
正味重量	550kg

作業操作の流れ

› 仕事を始める時

1. コンプレッサーの電源を入れる(赤いボタンを引く)
2. 約 40 秒で規定の圧力に達し、コンプレッサーの作動が止まる
3. コンプレッサーに付いているエアコックを開ける

› 作業が終わった時

1. 本体のローラーを上に上げる(上げた後にレバーを中立の位置に合わせる)
2. コンプレッサーの電源を切る(赤いボタンを押す)
3. コンプレッサータンクの下にあるドレインバルブを開ける(空気を全て抜いて下さい)
4. 空気が抜けたらコンプレッサータンクの下にあるドレインバルブを閉める

ワンポイントアドバイス

› インクジェット出力メディアを板に貼る

用紙を位置決めしたら、板と用紙の空気を抜く為に手で表面を撫でる様に擦る
剥離紙を剥く時にローラーを後ろに戻しすぎない様にする

› カッティングシートを板に貼る

アクリル板を貼る様に紙管ごとフィルムをシャフトにセットすると、スムーズに貼れます。

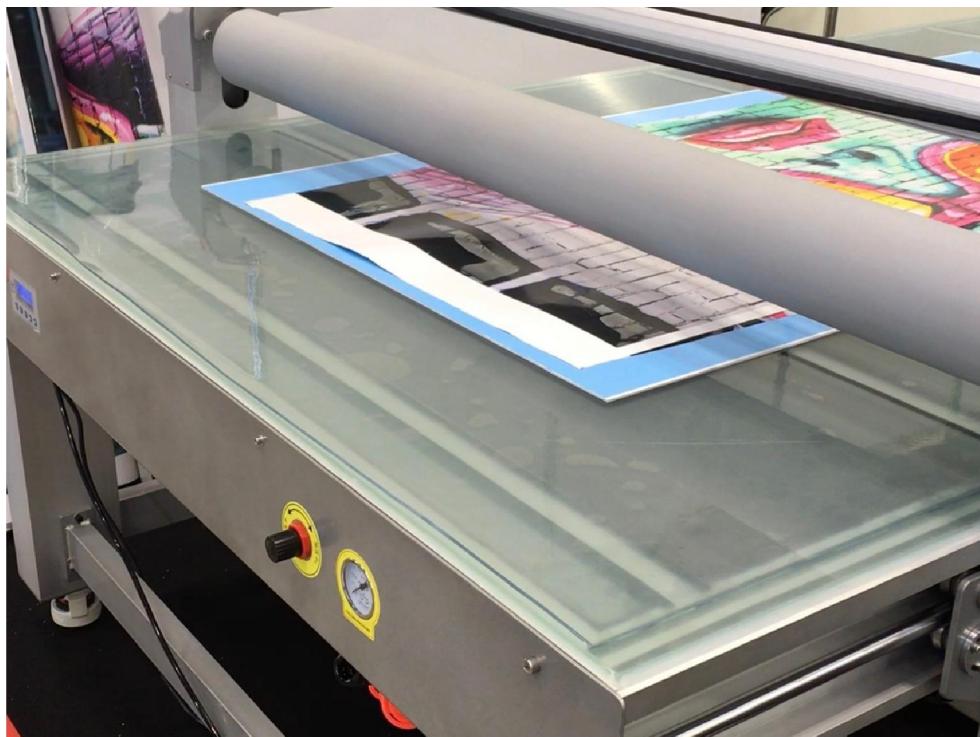


LED を使用する場合は、LED ボタンを一回押します。

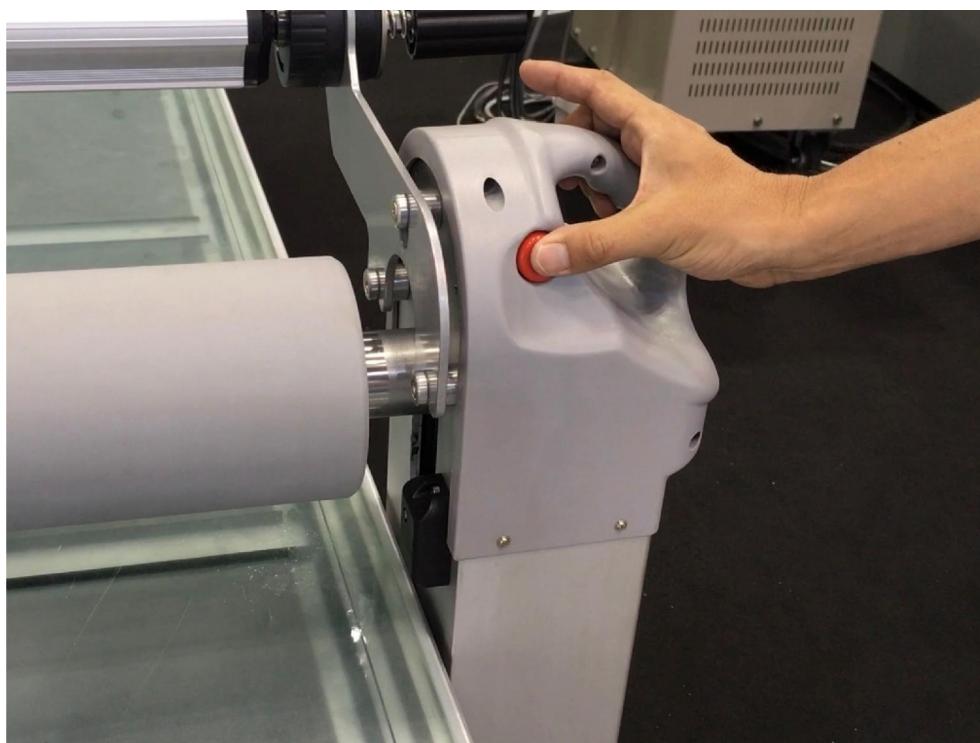
(その他のボタンやディスプレイの表記は、国内では使用しません。)

板張りの加工操作手順

1、板の上にメディアをセットします



2、ボタンを押して下にしてローラーを下げます。左右4箇所のどのボタンでもローラー昇降が可能



3、メディアの端部分をローラーの上に回します。



4、ローラーの上でメディアのリケイ紙を写真のように折り込みめくります



5、メディアの糊部分を中央のひっぱりながら、ローラーを手前へ引いて板へ張り合せます



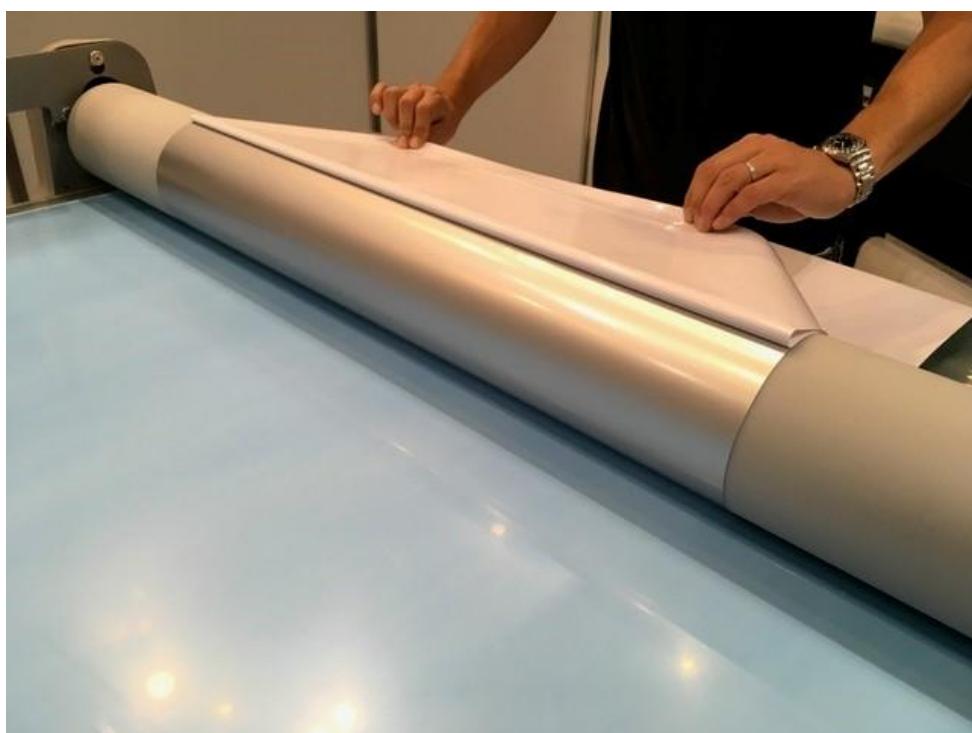
6、ローラーをメディアの上に戻してメディアを手前へ引きます



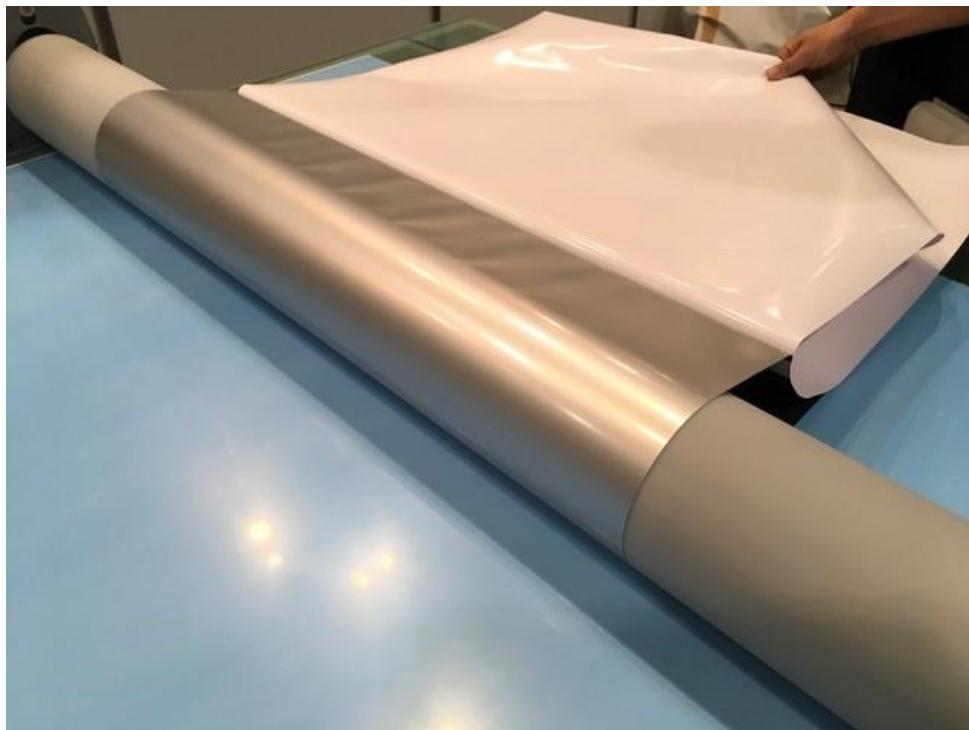
7、折り目がある部分までメディアをひっぱりながら、ローラーを戻します。



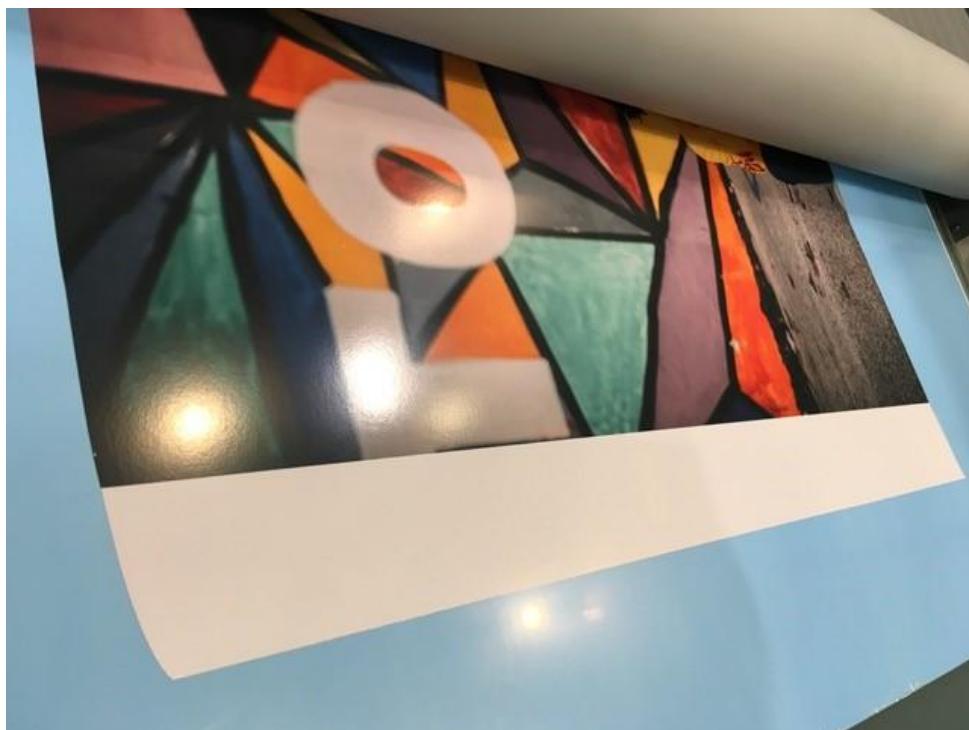
8、ローラーの端部分にたるみやシワが出ないようにリケイ紙をめくります



9、リケイ紙の中央部分を引っ張りながらローラーを押します。ローラー上にシワやたるみが無いようにする事が必要です。

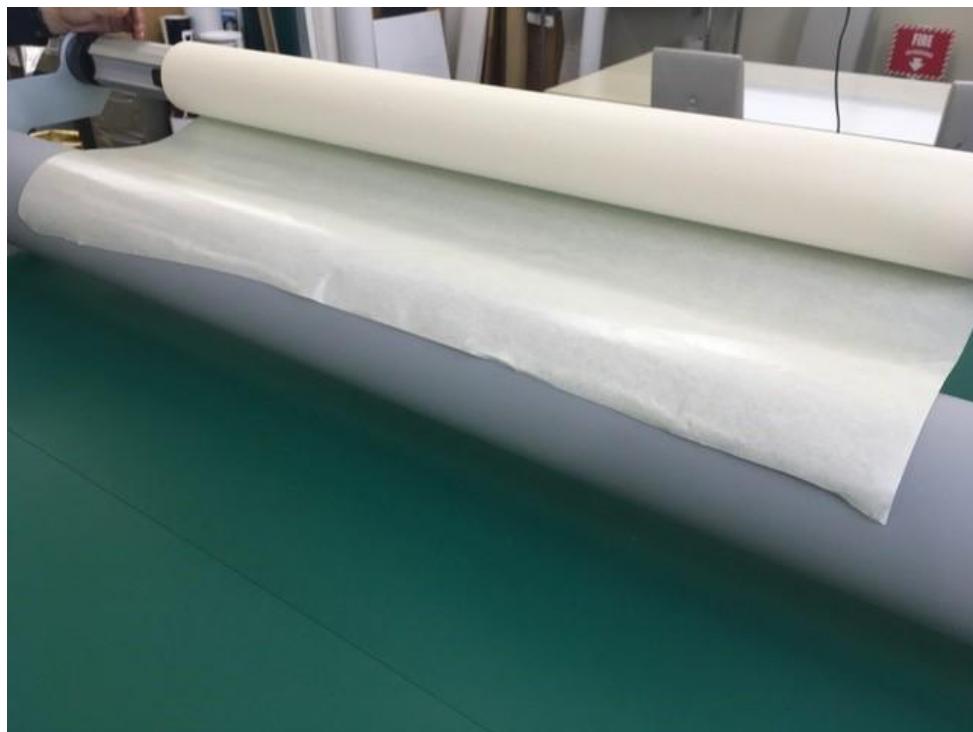


10、張り合わせたい場所までローラーを押します



和紙アプリやマーキングフィルムの貼り方

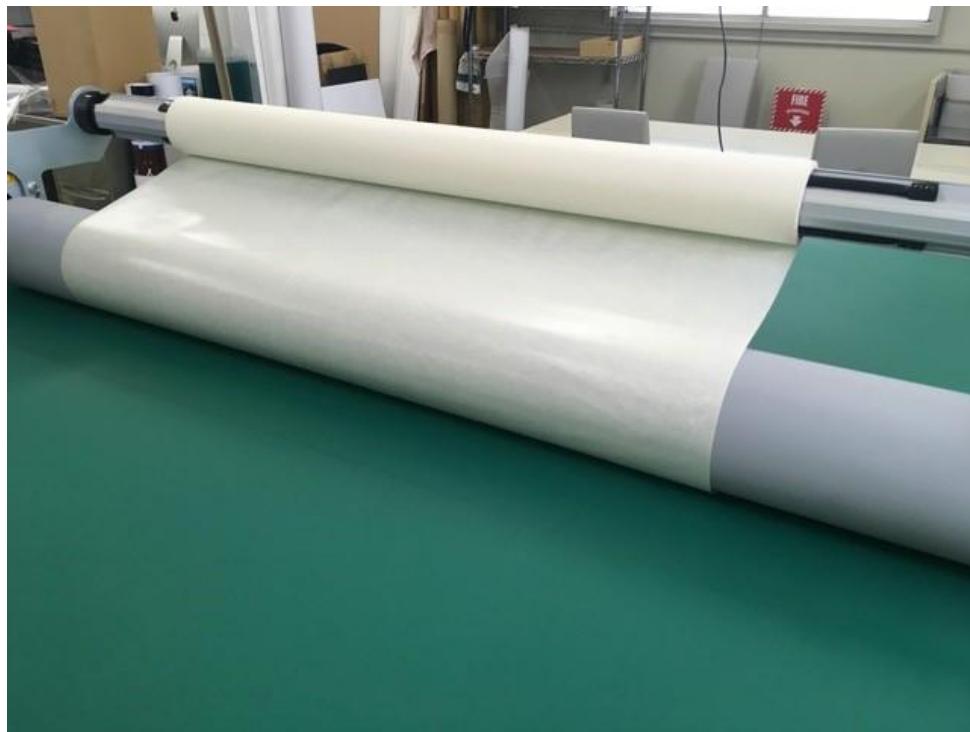
1、和紙アプリをシャフトにセットして糊面を外側にし、ローラーの上まで引っ張ります



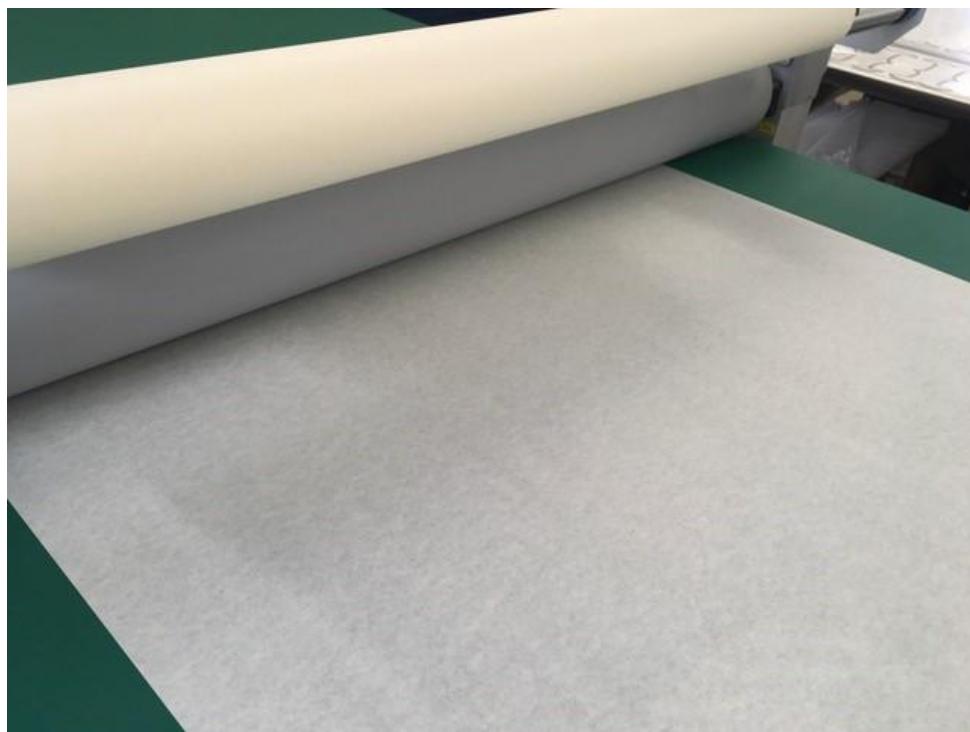
2、手で和紙アプリがローラーに追従するようにローラーを回転させます。



3、しっかりとローラーの下までシワなく和紙アプリをセット出来れば、ローラーを下ろします。



4、アプリ張りしたいメディアの上へローラーを動かします



定期的な手入れ（水抜き）

- コンプレッサータンク下に付いている、ドレンバルブを開き空気を抜く。（毎日、仕事終了後）



- コンプレッサー圧力調整付き水セパレーターの容器に水が溜まっていたら容器下のバルブを押して水抜きをする。

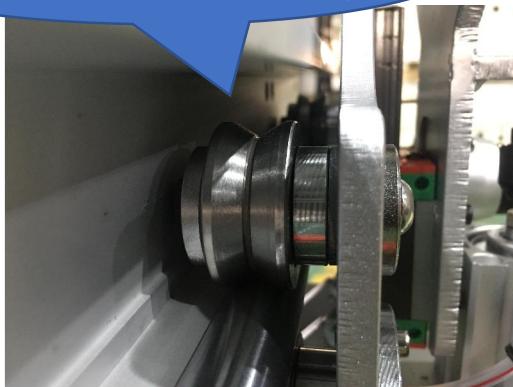


- 本体下の足に固定してある、コンプレッサー圧力調整付き水セパレーターの容器に水が溜まっていたら容器下のバルブを押して水抜きをする。

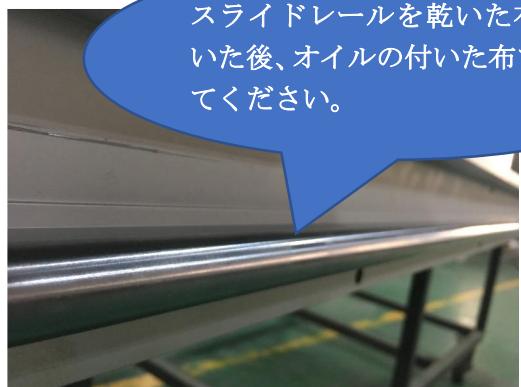
□ 定期的な手入れ（清掃）

- 本体のスライドレールとガイドローラーの清掃及び、注油する事で軽い力でスムーズに操作出来ます。

ガイドローラーを乾いた布で拭いた後、オイルの付いた布で拭いてください。



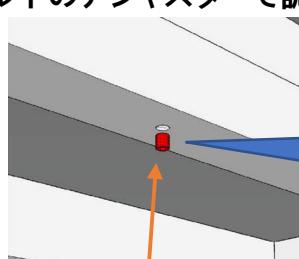
スライドレールを乾いた布で拭いた後、オイルの付いた布で拭いてください。



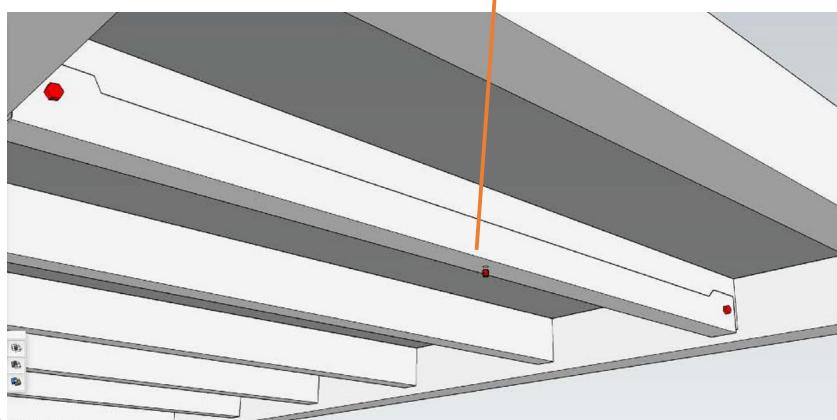
- ラバーローラーは汚れたり、又は定期的に清掃して下さい。（水で濡らした布又は、アルコールで清掃して下さい）
- テーブル表面の汚れは水で濡らした布又は、アルコールで拭いて下さい。
- ローラーやテーブルの上で鋭利な刃物の使用は破損に繋がりますので使用は避けて下さい。

- 定期的に（3ヶ月毎）ガラステーブルの平面性をチェックして下さい。（ローラーの圧力を抜いた状態でテーブルとローラーの隙間をチェック）

- 出荷時はセンターより両サイドが0.1ミリ～0.2ミリ低く設定していますが、センターに隙間がある様でしたら、ガラステーブル下のアジャスターで調整してください。（下の図参照）



Lレンチで時計方向に回すと、ガラス面が上がります。
(ガラスが割れる為、回し過ぎに注意)



1. メンテナンス

- ① 資格を有するサービス技術者以外はケースを開いてメンテナンスしないでください。メンテナンス時は以下の事項に注意してください。
- ② 絶対に、研磨剤を含むクリーナーで装置の表面を拭かないでください。
- ③ 回転部分とには定期的にグリス注油してください。

1.1 ローラーのメンテナンス

ローラーはアプリケーターの中核的なコンポーネントで、張り合わせ加工の品質に影響しますので、丁寧に使用して定期的に慎重にメンテナンスしてください。

- 1) ローラーを長期間お使いいただけるよう、圧力が加わった状態で放置しないでください。
- 2) ローラーを清潔な状態に保ってください。粘着剤の残りや異物が付着していると張り合わせ加工の品質に悪影響を及ぼします。
- 3) 加工中は、粘性物質がローラーに付着する場合があるので、粘着物がある場合はアルコールまたは専用の粘着剤除去剤を付けた布で拭いてください。ガソリンは絶対に使用しないでください。
- 4) メディアを切断する際には、カッターでローラーに引っ掻き傷を付けないように注意してください。
- 5) ローラーフックの使用

長期間アプリケーターを使用しない時は、付属のローラーフックを使用してローラーを上げて下さい。長期間テーブルと付属しているとローラーが変形する可能性がございます。



保証とサービス

- ◆ 本製品の保証期間は1年です。
 - ◆ 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には無償修理いたしますので、お買い求めの販売店、または弊社へご連絡願います。
 - ◆ 本マニュアルの記載内容は、品質改良のため、予告なく変更される場合がありますので、予めご了承願います。
1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - a) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷
 - b) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引越し、輸送などによる故障または損傷
 - c) 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに口外や異常電圧、その他外部要因による故障または損傷
 - d) 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷
 2. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 3. 本書は再発行しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
 4. 補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間ですが、5年以内でも同等機種との交換により修理対応とさせていただく場合もございます。
製造中止後5年を超えると、修理対応を終了いたします。



アコ・ブランドズ・ジャパン株式会社

www.accobrands.co.jp